

名取のカーネーション ～産地表示販売の取り組み進む～

名取市は1940年代から続くカーネーションの産地で、生産量は東北一を誇る。

名取市花卉生産組合では、2021年から生花店などの協力を得て、POPやステッカー、パンフレットを活用した名取市産カーネーションの産地表示販売の取組を始めている。



近年、新型コロナウイルス感染症の拡大により、花き産業も需要減少の影響を受ける中で、地元の花を購入し、生産者を応援したいという消費者の声があった。



一方で、花きの分野においては産地名を表示した販売があまり行われていないため、消費者が購入する時に、産地を認識しづらい状況にあった。

このような中、産地表示販売に取り組んだ生花店からは「お客様が関心を示し、名取市産を指定して購入した。産地表示販売を継続したい」

等、手応えを実感した声が聞かれた。

また、県の協力のもと、生産者と生花店などとの意見交換会を開催するなど、取り組みの機運を盛り上げている。

名取市花卉生産組合の針生定義組合長は「生花店や消費者の声を聞きながら、母の日に限らず取り組みを広げたい」と話す。今後、多くの消費者が名取市産カーネーションを選び、手に取ってもらえる日を心待ちにしたい。